

# 伊豆大島における測地測量結果について \*

国土地理院

1989年1月～2月に伊豆大島の1等三角点大島～大島灯台間(6.4km)の辺長量と御神火茶屋に至る路線の水準測量を実施した。

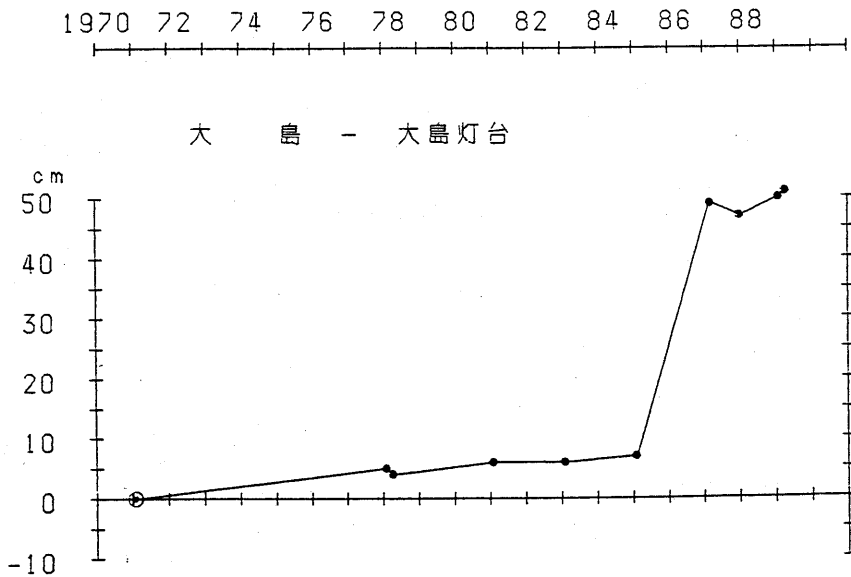
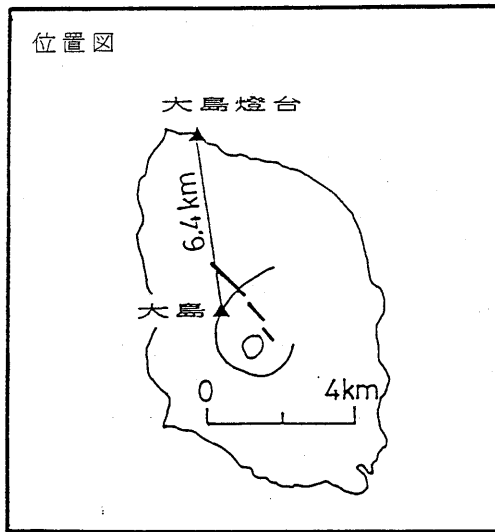
1970年12月の第1回の測量からの辺長変化の様子を第1表及び第1図に示す。大島～大島灯台間の辺長は、1986年11月の三原山の噴火に伴って、割れ目噴火によると考えられる42cmの伸びが生じたが、その後、大きな変化は生じていない。前回、1988年12月の測量結果との比較で、辺長は1cmの伸びを示しているが、測量誤差の範囲内である。なお、測距儀は1987年1月、1988年12月及び1989年2月はNLD-Ⅲを、1987年11月はDI-3000を使用した。また、1987年11月の測量は噴火直前の11月16日に実施したものである。

第1表 大島～大島灯台間の辺長測量結果

測定年 区 間	1970.12	77.12	78.02	80.12	82.12	84.12	87.01	87.11	88.12	89.02
大島～大島灯台	m 6381.90	m .95	m .94	m .96	m .96	m .97	m 2.39	m .37	m .40	m .41

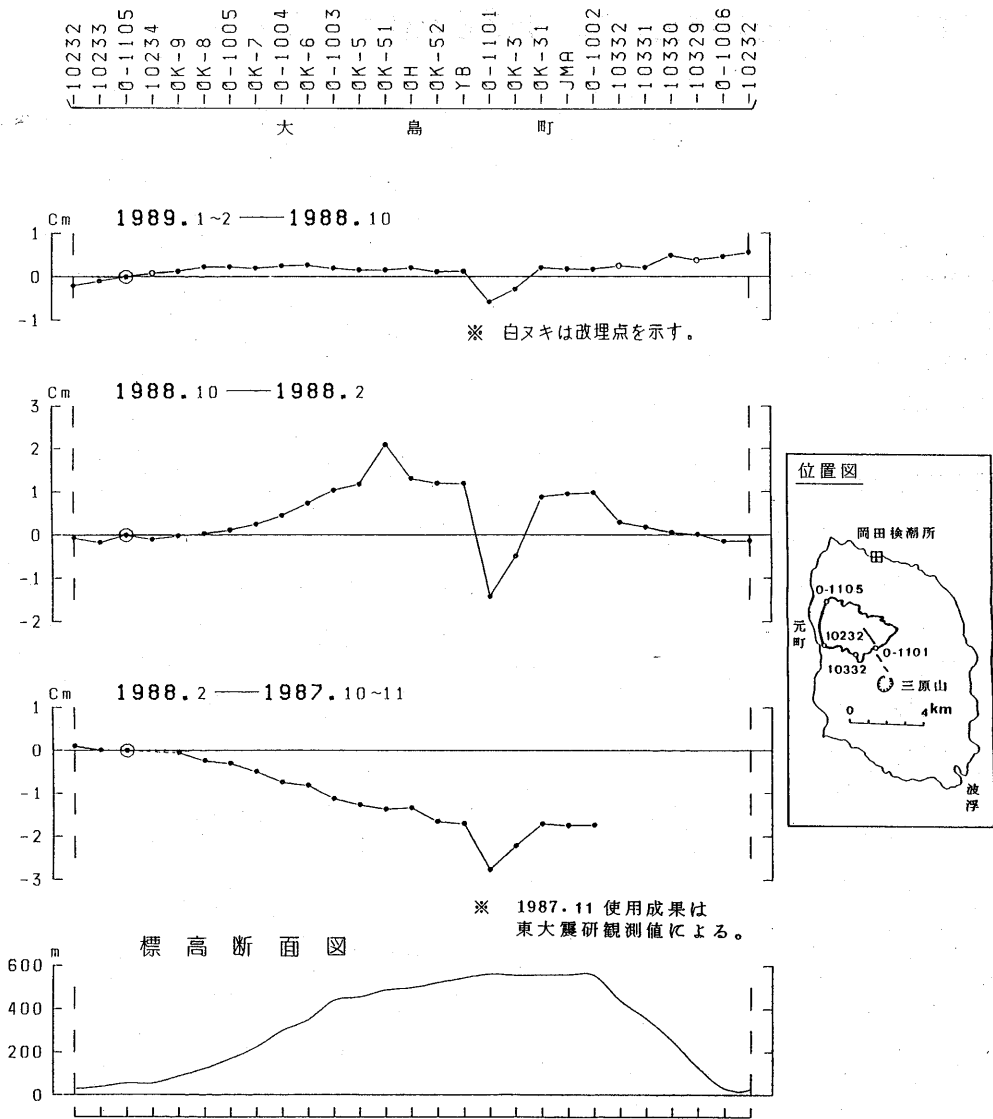
\* Received Aug. 19, 1989

第2図は元町から御神火茶屋に至る水準路線の上下変動を示したものである。前回の1988年10月以降大きな変動は生じていない。



第1図 大島—大島燈台間の辺長変化

Fig.1 Changes of the base line between Ohshima and Ohshimatodai



第2図 元町から御神火茶屋に至る路線の上下変動

Fig.2 Vertical movement of Bench Marks on the levelling route from Motomachi to Gojinkachaya

### 参 考 文 献

- 1) 国土地理院(1988): 伊豆大島における測地測量, 噴火予知連会報, **39**, 97-103.
- 2) 国土地理院(1988): 伊豆大島における測地測量, (2), 噴火予知連会報, **40**, 14-16.